

IV. 顕彰

1. 日本数学会賞小平邦彦賞

生涯にわたって数学に関する優れた業績をあげた数学者を顕彰する第1回小平邦彦賞を4名に授与しました。

2. 日本数学会賞春季賞・秋季賞

重要な研究成果をあげた40歳未満の数学者を顕彰する春季賞を1名に、また過去5年以内に特に優れた業績をあげた数学者を顕彰する秋季賞を1名に授与しました。

3. 日本数学会賞建部賢弘特別賞・奨励賞

若くして特に優秀な業績をあげた数学者を顕彰する特別賞を4名に、また極めて若くして優れた業績をあげた数学者を顕彰する奨励賞を5名に授与しました。

4. 日本数学会出版賞

著作活動により数学の研究・教育・普及に顕著な業績をあげた個人または団体、もしくは著作物を顕彰する出版賞を、著者1名および著作物2点に授与しました。

5. JMSJ 論文賞

2018年の「Journal of the Mathematical Society of Japan」に掲載された論文のうち、特に優れた3編の著者に授与しました。

6. 日本数学会解析学賞

解析学の発展に貢献した数学者を顕彰する解析学賞を3名に授与しました。

7. 日本数学会幾何学賞

幾何学の発展に貢献した数学者を顕彰する幾何学賞を2名に授与しました。

8. 日本数学会代数学賞

代数学の発展に貢献した数学者を顕彰する代数学賞を2名に授与しました。

9. 日本数学会応用数学研究奨励賞

応用数学分野において優れた業績をあげた若手研究者を顕彰する応用数学研究奨励賞を4名に授与しました。

V. 研究奨励

1. 加藤敏夫フェロー

東南アジア数学会の協力のもと、次世代を担う東南アジア在住の若手数学研究者を育成することを目的として1名を選考し、東京大学において受け入れました。

2. 日本数学会奨励研究生

厳しい研究環境の下で主体的に研究を進める若手数学研究者を奨励することを目的として、学位（博士）取得後3年以内の有望研究者8名を第1回奨励研究生として採用しました。

VI. 国際交流

1. アジアの数学会との交流

秋季総合分科会に、大韓数学会代表団を招いて、大韓数学会の会員による企画特別講演を行いました。2019年12月に台湾数学会年會に代表団を送り、当会からの推薦者による招待講演を行いました。

2. アフリカ数理科学研究所 (AIMS) との交流事業

当会と AIMS が締結した覚書に基づき、AIMS の拠点の 1 つであるルワンダ共和国に講師を派遣し、3 週間にわたり計 30 時間の講義を担当しました。

3. CDC 援助

IMU の下部機関である CDC (発展途上国の数学活動を支援する組織) に対して、例年通り 15 万円を拠出しました。

4. Oberwolfach 研究所機関会員

同研究所の財政を支援する組織 (Verein zur Forderung) の機関会員として、年会費 500 ユーロを拠出しました。

5. 日米数学研究所 (JAMI) 援助寄付金

同研究所を援助するため 10 万円を拠出しました。

6. ICIAM

会員として年会費 400 US ドルを拠出しました。

VII. 社会連携

1. 市民講演会 (於東京都目黒区および石川県金沢市) を開催しました。

2. 文部科学省および科学技術振興機構と連携し「数学連携ワークショップ Society5.0 と数学 3—数学と情報セキュリティ研究とのかかわり—」(東京工業大学での年会会期中) を開催し、また科学技術振興機構と連携し「数学連携ワークショップ Society5.0 と数学 4—AI やビッグデータが注目される現代における数学への期待から—」(金沢大学での秋季総合分科会会期中) を開催しました。

3. 博士課程の学生を中心としたキャリアパス支援構築を目的とし、「第 8 回数学・数理科学のためのキャリアパスセミナー —数学・数理科学を活用した異分野融合研究と社会連携に向けて—」(東京工業大学での年会会期中) および「数学・数理科学専攻若手研究者のための異分野・異業種研究交流会 2019」(2019 年 10 月 26 日, 東京大学) を開催しました。

4. 数学「ジャーナリスト・イン・レジデンス」(JIR) プログラムへの支援を行いました。

5. 「女子中高生夏の学校」においてポスター展示および実験実習を行いました。

2019年度事業報告附属明細書

2019年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。